

■2014 年度

日本語教育部では、1年に春学期と秋学期の2回日本語コースを提供し、本学に在籍する留学生や各部局の留学プログラムに対応している。このほか、日本語教育関連プロジェクトや各種の留学プログラムの企画・運営も行っている。

1. 日本語教育関連プロジェクト

▼ウェブ版プレイスメントテストの開発

日本語教育部では、学期開始時に学習者が受講する日本語授業を決めるため、プレイスメントテストにより日本語レベル判定を行っている。プレイスメントテストは、これまでは紙ベースで行っていたが、実施準備の煩雑さ、採点作業に時間と手間がかかるという問題点が指摘されていた。そこで2014年度は、プレイスメントテストをインターネット上で行えるよう、ウェブ版のプレイスメントテストを開発した。このウェブ版プレイスメントテストは、まず2014年度秋学期の全学講習科目受講生を対象に実施され、その有効性を確認した。2015年度春学期からはJOYプログラム、世宗プログラム等他の学習者に対しても全面的に実施される予定である。

▼簡易プレイスメントのアップロードと実施

昨年度に引き続き国際教育センターHPにリンクしてある「簡易プレイスメントテスト」「日本語クラスナビ」を、渡日遅れの学生や渡日前のYCCS生に活用した。

http://www.isc.ynu.ac.jp/course/web_placement_test/Japanese_Level_Check.html

http://www.isc.ynu.ac.jp/course/course/class_navi/navi01.html

▼日本語サポーターの日本語クラス参加

2013年度より日本人学生による留学生支援や留学生との交流の促進を目的に日本語サポーターバンク制度を取り入れている。国際教育センターホームページ上で日本語サポーター募集クラスを公開し、日本人学生の日本語クラスへの参加の機会を提供している。2014年度は様々な学部所属する学生計24名が新規登録をし、主に初中級レベルのクラスに参加した。前期後期と年間を通して参加した学生や、コース終了後も留学生との交流を続ける学生もいた。

http://www.isc.ynu.ac.jp/course/course/japanese_students.html

▼学内SSプログラム生の日本語クラス参加・特別クラスの開催

SSプログラムで来日する学生が日本語を学ぶ機会を提供するために、ウェブ上で申込みの手続き等を周知し、クラス参加の機会を提供した。

<http://www.isc.ynu.ac.jp/course/pdf/ss.pdf>

1) 開講中のクラスへの参加

- ・上海交通大学学生3名 12月～1月

- ・政治大学（日本語教育部門が企画申請し、採用された平成26年度留学生交流支援制度（短期受入れ）「新世代知日派台湾文学研究者養成のための日本台湾学術交流プログラム」）4名

▼学内行事「第四回 YNU 日本語スピーチ大会」開催

平成26年12月16日、教育文化ホール大集会室にて第四回 YNU 日本語スピーチ大会を開催した。本学で学ぶ5カ国からの留学生8名が「わたしの挑戦」というテーマでそれぞれの思いを日本語で表現した。当日は留学生を含む本学学生、本学教職員の他、日ごろ留学生支援に携わるボランティアの方々等総勢111名が来場した。審査の結果、最優秀賞は韓国からの留学生で、経済学部2年のガク・ジェハンさんが受賞した。なお、今回のスピーチ大会は国際交流の機会を促進するという目的のもと「留学生支援入門」クラスの受講者に原稿のチェックやスピーチの練習の手伝いをお願いし、当日もスピーチ大会の運営に携わってもらった。スピーチ大会当日の様子は本大会後援でもある読売新聞にて（12/17）紹介された。国際教育センターホームページには報告とともに発表資料が掲載されている。

http://www.isc.ynu.ac.jp/speech_contest/speech.html

▼渡日前入試に関する事前調査

渡日前入学許可を行うにあたり、事前調査を行い、実施の可否、対象者の特定、試験の方法、入試合格基準について大体の感触を得た。

（小川・・・モンゴル：2014年10月10日～13日、インドネシア：2015年3月7～9日 中川・・・ベトナム：2014年9月14日～18日、マレーシア：2014年11月16日～19日）

2. 日本語教育コース

▼全学講習日本語コース/JOY 日本語プログラム

「全学講習日本語コース」は、研究生を含む本学の留学生対象のコースである。「JOY 日本語プログラム」は、短期交換留学プログラムの学生を対象とするプログラムで、国際交流科目として開講された日本語科目である。研究生や大学院生が修了条件を満たした場合には、修了証を発行している。尚、本プログラムの概要、受講手続等については、年2回『日本語プログラムパンフレット』を発行し、国際教育センターホームページにおいても公開している。

▼日本語研修コース

日本語研修コースは、前期は予備教育生（大学院進学予定の国費研究留学生）を、後期は予備教育生と教員研修留学生を対象とした15週のコースであり、レベル等によって、7～10コマの日本語科目の受講を義務付けている。

▼YCCSプログラム

YCCSプログラムでは、日本語教育部提供の「日本語・日本事情」科目6コマ6単位、教育人間科学部の科目「日本文化と漢字」1コマ2単位の合計8単位の日本語科目を必修とする。日本語教育部では「日本文化と漢字」等の新規科目を開設し、YCCSのカリキュラムに合わせた形で時間割を再編し協力した。

1期生7名は4レベルに、2期生10名は5レベルに分かれそれぞれ受講した。

▼学部教養教育：外国人留学生のための授業科目

教養教育科目「日本語中級」7 コマ、「日本語上級」9 コマ、「日本語演習」3 コマ、「日本事情」1 コマ開講し、年間延べ約 300 人の学生が受講した。

▼英語による特別プログラムの日本語科目

2014 年度秋学期に以下の英語による特別プログラムの日本語科目を開講した。

- ・国際社会科学部研究科財務省国税局提携による特別プログラム (MPE)

3. 各種留学プログラムの運営

▼日韓共同理工系学部留学生事業（日韓プログラム）

2014 年度10月には第2次事業5期生7名の日韓生を受け入れ、半年間の予備教育を担当した。日本語クラスは、4 技能を全体的に養成するクラスを4コマ、理工系日本語表現法1コマの5コマを必修としたほか、レベルに応じて計3コマを選択科目として履修させた。そのほか、日韓プログラムために特別開講した「理工系留学生のための英語」クラス1コマ、「留学生のための理工学入門」クラス2コマを履修させたほか、学部開講の「理工学部生のための数理モデリング」のクラス1コマを科目履修生として受講させて、専門教育の充実を図った。結果、学部の正規生に混じり、秀1名を含む全員合格という健闘振りを見せた。

さらに、大学での理系科目講義に慣れるために、理工学部教員の指定する学部理系科目講義を2コマ聴講し、その予習・復習を個人チューターとともに行うよう指導した。そのほか、2回にわたり、千葉大学・東京工業大学との合同の講演会およびプレゼンテーション発表会を行った。

▼横浜国立大学国際プログラム・世宗大学校日本交流プログラム

韓国の世宗大学校と本学教育人間科学部の部局間協定に基づいた授業料徴収型短期留学プログラム「横浜国立大学国際プログラム・世宗大学校日本交流プログラム(通称世宗プログラム)」が、半年の試行期間を経て正式実施の2期目に入り、4月～2月までの11ヶ月間、19名の学生を受け入れた。学生は日本語科目14単位、専門科目4単位を履修、その単位は世宗大学校で互換単位として認定される。日本語教育部は教育人間科部世宗プログラム委員および教務課基盤教育係の協力を得ながら、日本語を含む学務指導のみならず、生活指導を含む受け入れ業務全般を担当した。

▼平成25年度留学生交流支援制度（短期受入れ）プログラムの実施

JASSO の募集した平成26年度留学生交流支援制度（短期受入れ）プログラムに「新世代知日派台湾文学研究者養成のための日本台湾学術交流プログラム」にプログラムが採用され、3月15日～3月25日までの11日間、政治大学からの院生4名を受け入れ、国際ワークショップ開催を含む学術交流活動を行った。

▼日本語・日本文化研修留学生の受け入れ

2014 年度より、日本語日本文化研修生（国費）の受け入れを開始した。本年度は、10月に大使館推薦4名（ブルガリア1 インドネシア1 タイ2）を受け入れ、秋学期は日本語科目、ゼミ

を含む12単位を履修している。

▼科目等履修生制度の実施

神奈川県下の大学に在籍する留学生を対象に、日本語科目を履修できる制度として、科目等履修生として受け入れる制度を作り2015年3月に募集を行った。

▼その他・海外出張

- ・2014年4月14日に大連理工大学において学生交流に関する打ち合わせに小川が参加した
- ・2014年4月19日に韓国・慶熙大学において開催された日韓共同シンポジウム推進委員会・慶熙大学校共催、韓国教育部国立国際教育院・在韓日本国大使館・文部科学省後援の「2014 日韓共同シンポジウム：日韓共同理工系学部留学生事業の過去と現在、未来—優秀な国際的人材育成を目指した日韓教育連携」に四方田が参加した。
- ・2014年8月31日に韓国・ソウルで開催された日韓プログラム推進フェアに四方田が参加した。あわせて9月1日に世宗大学校を訪問し、2015年度の派遣に関する打合せを行った。
- ・2014年9月16日にベトナム・ダナンで開催されたダナン大学トラン＝ヴァン＝ナム総長へのYNU名誉博士号授与式に中川が参加した。
- ・2014年9月大連理工大学において開催された日本語教育学セミナーに講師として小川が招聘された。
- ・2014年10月10～11日にモンゴル・ウランバートルで開催された日本留学フェアに小川が参加した。
- ・2014年12月15日に東亜大学、プキョン大学において学生交流に関する打ち合わせに小川が参加した。
- ・2015年3月7日にインドネシア・ジャカルタで開催された海外同窓会へ小川が参加した。
- ・2015年3月23～24日に半沢が協定校であるアメリカ・ユタ州立大学を訪問した。